第24巻第42号 ［宮崎県第42週（10/17～10/23）　全国第41週（10/10～10/16）］　令和4年10月27日

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第42週の発生動向

□ トピックス

・新型コロナウイルス感染症（新型インフルエンザ等感染症）の報告が1,761例あり、先週（1,569例）の約1.1倍となった。2022年の累積報告数は194,698例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

□ 全数報告の感染症（42週までに新たに届出のあったもの）

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核5例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症4例。
4類感染症：日本紅斑熱1例。5類感染症：梅毒3例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	肺結核	なし
			70歳代	男	肺結核	食欲低下
			80歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			90歳代	女	肺結核	発熱
		延岡	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	0～4歳	男	―	水様性下痢、発熱、O157(VT型不明)
			5～9歳	女	―	水様性下痢、発熱、O157(VT型不明)
		小林	60歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1)
			60歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O8(VT1VT2)
4類	日本紅斑熱	日南	60歳代	女	―	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は250人（定点当たり7.4）で、前週比108%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はＲＳウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患はＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

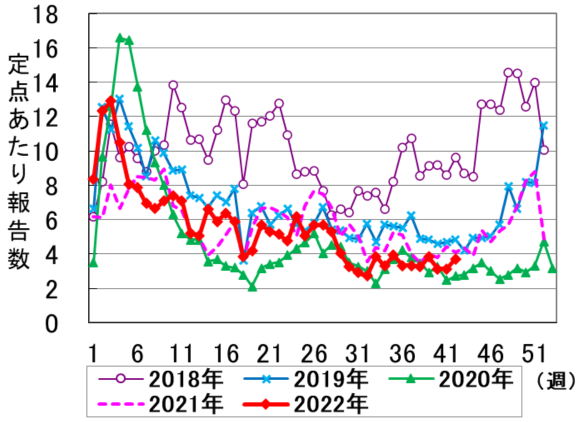
報告数は134人（3.7）で、前週比119%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*（5.6）の約0.7倍であった。都城（6.0）、中央（5.0）、小林（4.7）保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

【手足口病】

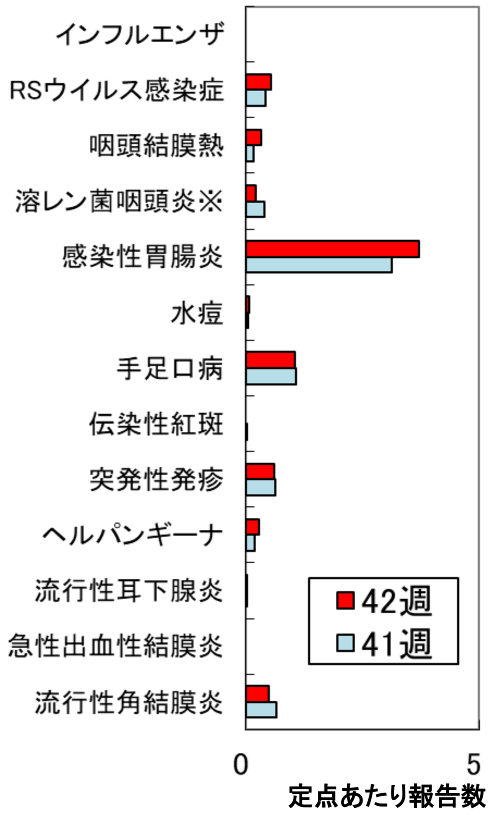
報告数は38人（1.1）で、前週比97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*（2.4）の約0.4倍であった。中央（4.0）、小林（2.0）、都城（1.7）保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

＊ 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

感染性胃腸炎　発生状況

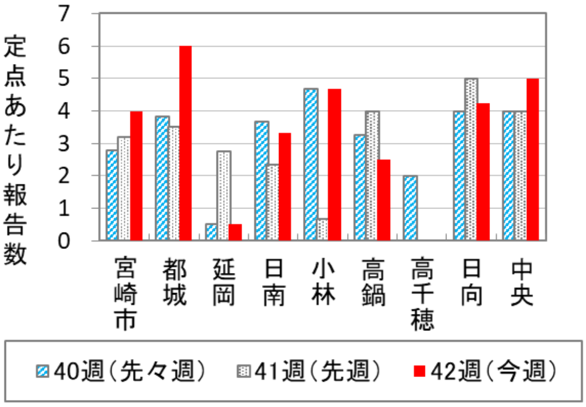


《前週との比較》

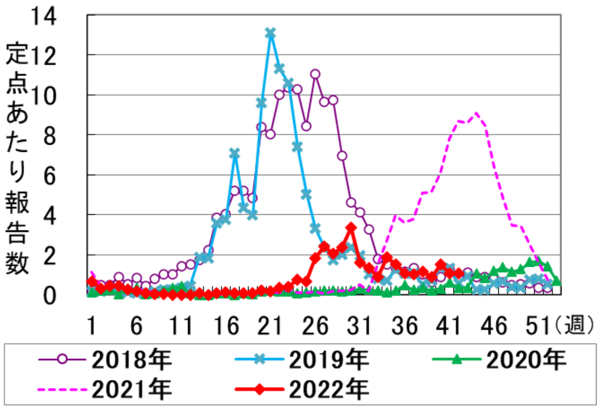


※　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

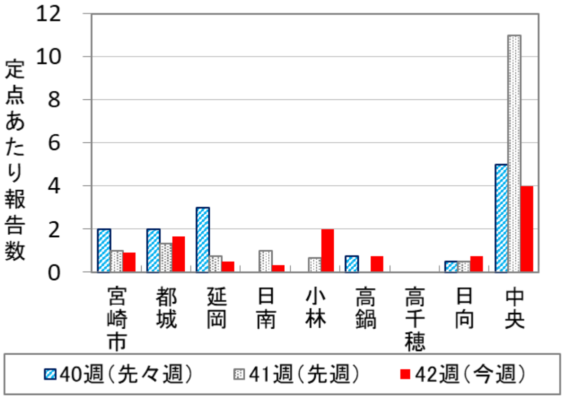
感染性胃腸炎　保健所別推移(3 週分)



手足口病　発生状況



手足口病　保健所別推移(3 週分)



★基幹定点からの報告★　なし

★保健所別　流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★　なし

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部　令和 4 年 10 月 24 日までに検出）

★細菌

同 定 細 菌 名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状 等	検出材料	同定日
EHEC(O157:H7 VT1.2)	5～9歳	男	2022.09.09	発熱、胃腸炎（水様性下痢、血便、嘔吐）	便	2022.09.21
EHEC(O157:H7 VT1.2)	5～9歳	男	2022.09.12	無症状	便	2022.09.28
EPEC(O128：H2)	0～4歳	男	2022.09.14	胃腸炎（水様性下痢）	便	2022.09.29
EHEC(O157:H7 VT1.2)	5～9歳	男	2022.09.15	無症状	便	2022.09.28
EHEC(O157:H7 VT2)	70歳代	男	2022.09.16	胃腸炎（水様性下痢、血便）	便	2022.09.29
EHEC(O26:H11 VT1)	0～4歳	男	2022.09.14	発熱、胃腸炎（水様性下痢、血便、腹痛）	便	2022.09.30
EHEC(O157:H7 VT2)	0～4歳	女	2022.09.28	胃腸炎（水様性下痢）	便	2022.10.13
EHEC(O157:H7 VT2)	0～4歳	男	2022.09.29	胃腸炎（水様性下痢）	便	2022.10.13
EHEC(O157:H7 VT2)	0～4歳	女	2022.09.30	胃腸炎（腹痛）、軟便	便	2022.10.13

○8 月より保育施設における腸管出血性大腸菌の集団感染が複数事例発生している。腸管出血性大腸菌感染症は少ない菌量でも感染するため、集団生活や家族の中で感染が拡大することがあり、注意が必要である。特に抵抗力の弱い乳幼児や高齢者が感染すると、重症化し溶血性尿毒症症候群（HUS）を引き起こし死亡する場合もある。感染防止のため注意すべき事項としては、調理の際は食材をよく洗い十分に加熱すること、帰宅時・調理中・食事前・用便後の手洗いを行うこと、また、保育施設ではオムツ交換時の手洗いや、園児に対する排便後・食事前の手洗い指導が挙げられる。

★ウイルス　なし

全国 2022 年第 41 週の発生動向

□　全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	187 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	50 例				
4類感染症	E型肝炎	7 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	4 例	日本紅斑熱	30 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	42 例	レプトスピラ症	3 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	32 例	急性弛緩性麻痺	1 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例
	後天性免疫不全症候群	7 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	15 例
	水痘（入院例）	4 例	梅毒	132 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	5 例

□　定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 89％と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナであった。

感染性胃腸炎の報告数は 6,179 人(2.0)で前週比 100％と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.7)の約 0.7 倍であった。大分県(4.7)、福井県(3.5)、島根県(3.2)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

手足口病の報告数は 4,142 人(1.3)で前週比 78％と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)と同程度であった。石川県(2.6)、岐阜県(2.0)、大阪府、青森県(1.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

＊　過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報　　（71定点医療機関 ）　　2022年 第42週(10月17日～10月23日)

疾病名		第41週	第42週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス感染症	報告数	15	19	1	4	3		10	1			
	定点当り	0.42	0.53	0.10	0.67	0.75	0.00	3.33	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	6	12	7	1	2			2			
	定点当り	0.17	0.33	0.70	0.17	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	14	8	6			2					
	定点当り	0.39	0.22	0.60	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	113	134	40	36	2	10	14	10		17	5
	定点当り	3.14	3.72	4.00	6.00	0.50	3.33	4.67	2.50	0.00	4.25	5.00
水　痘	報告数	2	3			1					2	
	定点当り	0.06	0.08	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	39	38	9	10	2	1	6	3		3	4
	定点当り	1.08	1.06	0.90	1.67	0.50	0.33	2.00	0.75	0.00	0.75	4.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	23	22	10	6		1	3	1		1	
	定点当り	0.64	0.61	1.00	1.00	0.00	0.33	1.00	0.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	7	10	2	3		1	4				
	定点当り	0.19	0.28	0.20	0.50	0.00	0.33	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	3	3								
	定点当り	0.67	0.50	1.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～42週)

2類感染症	結 核	99例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	61例(4)				
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	10例	つつが虫病	7例
	日本紅斑熱	10例(1)	レジオネラ症	2例	レプトスピラ症	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	6例
	急性脳炎	3例	クリプトスポリジウム症	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	4例	ジアルジア症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8例	水痘(入院例)	3例	梅 毒	81例(3)
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	5例	百日咳	14例
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	194698例(1761)				

(　)内は今週届出分、再掲